

No.	15-7-2	場所	高森町牛牧地区 元上平	次世代への継承キーワード	地域コミュニティ
名称	宮沢川の氾濫で水没した水田と元下平選果場（牛牧神社西方300m付近）			河川	宮沢川
災害現象	洪水氾濫			支流	
補足事項					

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約500mにわたる惣兵衛堤防は、200年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11名の犠牲者を出した。

●被災状況の記録：新聞掲載記事

現地へついたときはまだ、復旧どころか、死者の始末さえろくにできていないときだ。みつかった死体はコモに寝かされてつきそいの人もいなかった。**村の人は第二の崩落をおそれて山のうえへ避難して人かげもまばら。**まい子になった豚が、死体を食べるんじゃないかなどという消防団の人もあって、“鬼気せまる”感じだった。

（「信濃毎日新聞」記者座談会より）

●体験談：

午後五時、大雨洪水注意報が発令され、篠つく雨は夜に入るも一向におとろえず、八時町内は全面的に停電、山吹追分、牛牧等に山津波が来襲、市田、山吹間の通信が途絶えるに及んで最悪の状態となった。**一夜町民は、押し寄せる山津波におびえ、危険地帯の婦女子は各々避難し、他の男子は人力の限りを尽してこれとたたかった。**しかし自然の力は強かった。二十八日、二十九日と断続的に降った雨は、二百五十年の伝統をほこる惣兵衛堤防をも破壊し、町内で十一名の尊い命をうばい二十五億の損害を、一夜にしてもたらしたのである。

（「たかもり」掲載記事より）

記録



宮沢川の氾濫で埋没した水田と元上平選果場

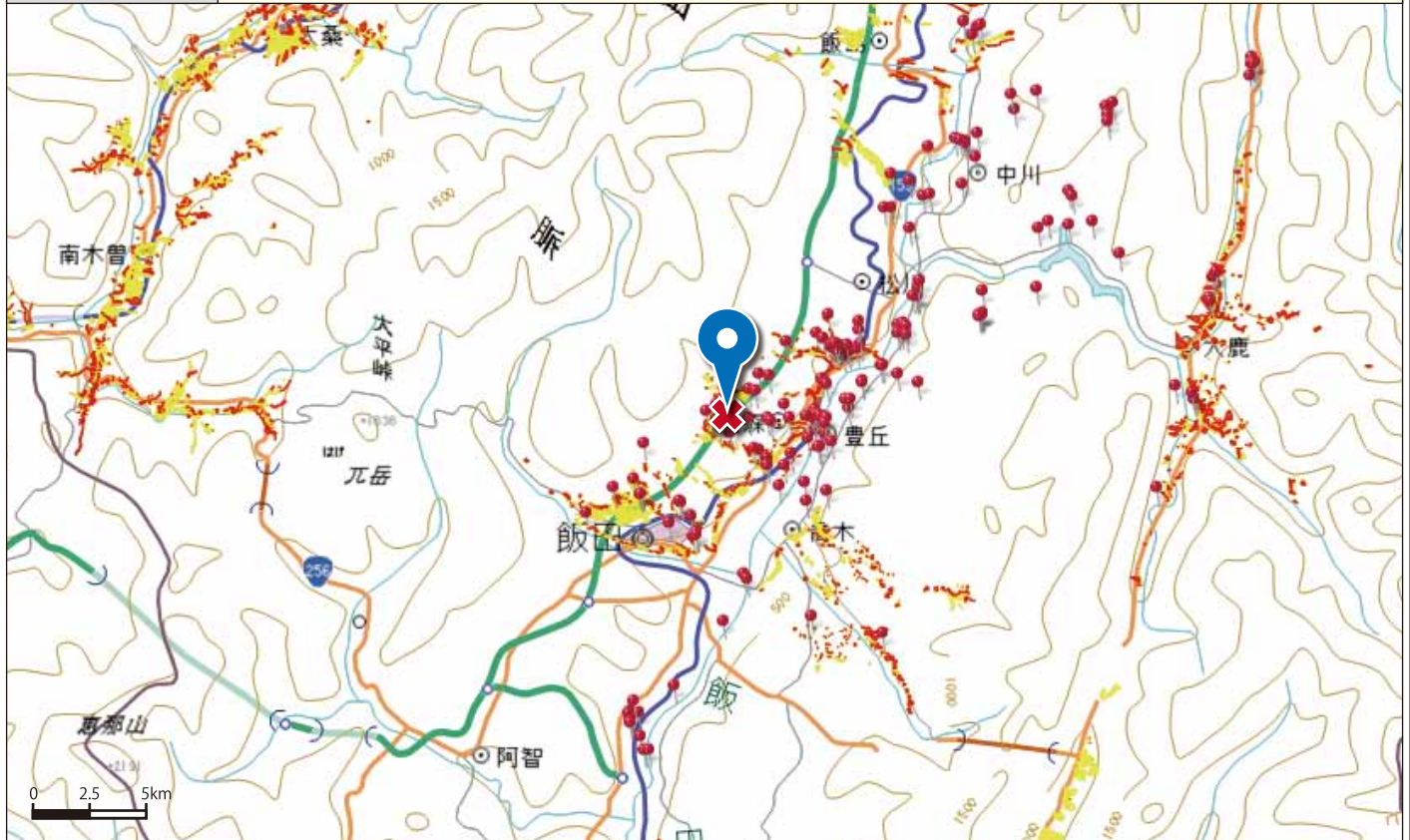
出典 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.23 / 「信濃毎日新聞」記者座談会 / 「たかもり」掲載記事

備考

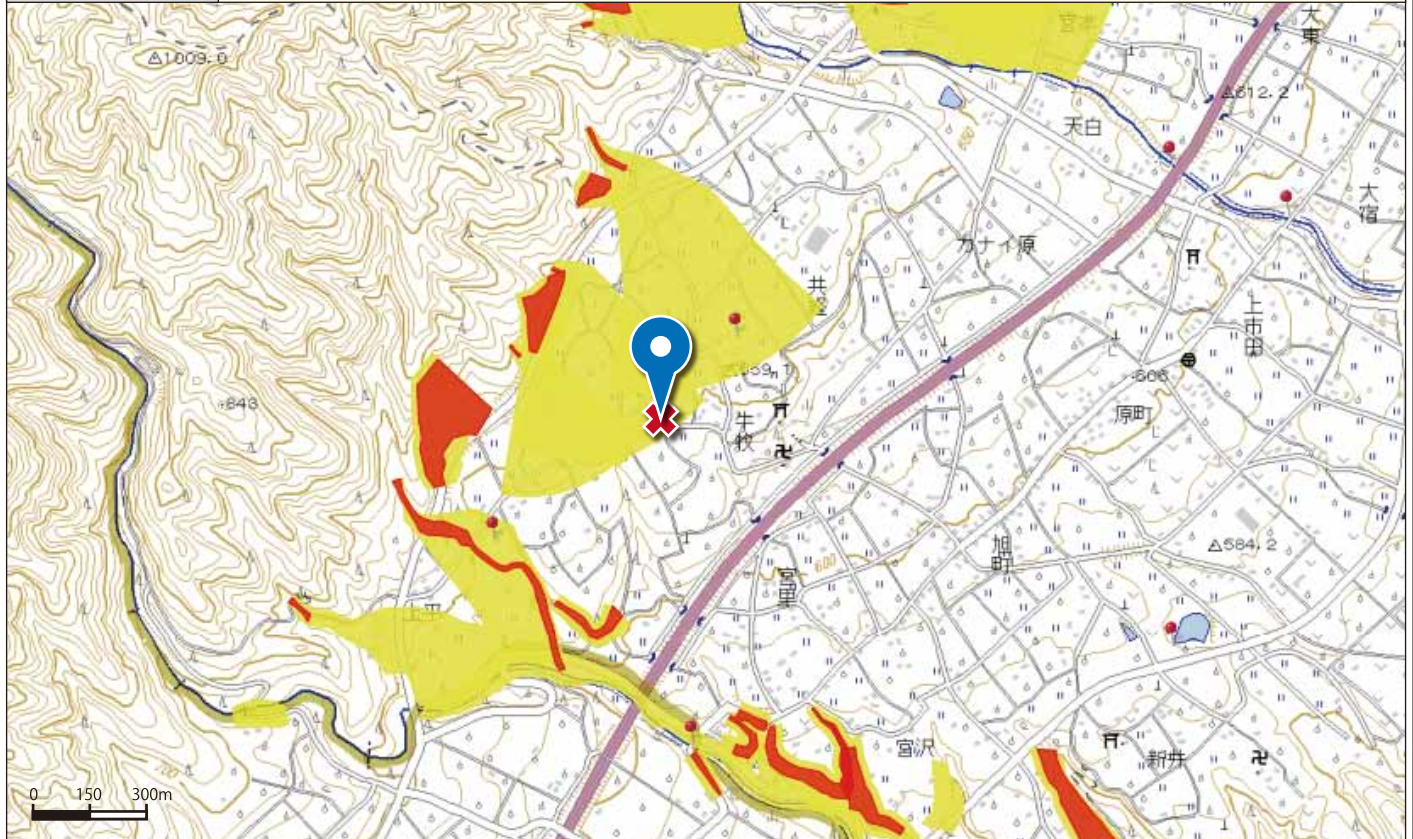
No.	15-7-2	場所	高森町牛牧地区 元上平	緯度	35.55440
-----	--------	----	-------------	----	----------

名称	宮沢川の氾濫で水没した水田と元下平選果場（牛牧神社西方300m付近）			経度	137.846961
----	------------------------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。